

レスポンス Web デザイン

[HTML][CSS][CSS3]

かなりわかりやすい。

- ・「レスポンス Web デザインとは」のまとめ

レスポンス Web デザイン (Responsive Web Design)

- ・ PC、タブレット、スマートフォンなど、あらゆるデバイスに最適化した Web サイトを、単一の HTML で実現する制作手法
- ・ スクリーンサイズを基準に CSS でレイアウトを調整することで、デバイスごとに専用サイトを用意することなく、マルチスクリーンに対応した Web サイトを制作

構成する技術

フルードグリッド (Fluid Grid)

- ・ 以下を合わせたもの
- ・ 最初にグリッドデザインによって部品や表示領域を px 単位で配置していき、レイアウトが整った後に、値を % に変換してフルードデザインに変更

デザイン	内容
グリッドデザイン (Grid Design)	Web ページの要素を罫線や升目に沿って配置
フルードデザイン (Fluid Design)	横幅が変わってもレイアウトを維持したまま要素のサイズを調整

フルードイメージ (Fluid Image)

- ・ レイアウトの大きさに追従して画像のサイズを拡大・縮小する手法で、CSS のみで実装

メディアクエリー (Media Query)

- ・ メディアクエリーは、画像解像度、ウィンドウの幅、デバイスの向きなどの指定条件にあわせて別々の CSS を適用する技術

その他技術

- ・ レスポンシブタイプセッティング (Responsive Typesetting)
 - ・ 文字をレイアウトの大きさに追従して伸縮
- ・ レスポンシブテーブル (Responsive Table)
 - ・ テーブル (表組) のサイズを調整

モバイルファースト

GROWTH=OPPOTUNITY 「成長」 = 機会

- ・ モバイル端末の市場自体、今でも大きく成長

CONSTRAINS=FOCUS 「制約」 = 集中

- ・無駄なコンテンツは削ぎ落とされる

CAPABILITIES=INNOVATION 「機能」 = 能力

- ・スマートフォンならではの機能

HTML の用意とリセット CSS の作成

HTML5

- ・古いブラウザのサポートが必須の場合など、特別な事情がなければ HTML5 を使って記述しましょう

viewport の指定

- ・head 要素内にある meta name="viewport" は、スマートフォン向けの viewport の設定
- ・viewport は HTML ドキュメントに meta 要素で head 要素内へ記述

```
<meta name="viewport" content="width=device-width" >
```

- ・width="content-width" は、「viewport の幅をデバイスのスクリーンの幅に合わせる」という意味

スタイルシートの作成

- ・CSS の記述効率とファイルサイズを圧縮するため、もっとも小さいスクリーンサイズ向けのスタイルから、徐々に大きいスクリーンサイズのスタイルへと記述
- ・小さいスクリーンサイズの基準は、幅 320px
- ・幅 320px のスタイルがいったん完成するまでは、Web ブラウザーのウィンドウ幅を 320px に固定した状態で確認しながら CSS を記述
- ・リサイズツール
 - ・Resizer:Safari
 - ・Window Resizer
 - ・Firesizer

文字コードの指定

```
@charset "utf-8";
```

ブラウザ独自のスタイルをリセット

normalize.css

ブラウザ毎の差異をなくす。HTML5 要素の初期化にも対応

- ・<http://necolas.github.io/normalize.css/>

CSS Reset

ブラウザデフォルト指定を無くして、さらの状態からスタート

- ・<http://www.cssreset.com>

margin と padding のリセット

```
*{margin: 0; padding: 0}
```

a 要素の下線、ul、ol 要素の「・」のリセット

```
a { text-decoration : none}
ul, ol { list-style : none}
```

img 要素の余計な余白（ディセンダー）のリセット

```
img{ vertical-align : middle}
```

フルードイメーজの導入とタイポグラフィの設定

「フルードイメージ」による画像の伸縮

- ・ウィンドウサイズより大きい画像でも、ウィンドウサイズ（または親要素の幅）に応じて、縦横比を保持したまま自動的に画像が拡大・縮小

```
img{ max-width : 100%}
```

タイポグラフィ（文字周り）の設定

- ・ブラウザのフォントサイズはデフォルトで 16px
- ・日本語のテキストでは、一般的にフォントサイズの 1.5 倍がもっとも読みやすい行の高さとされている `:line-height` プロパティの値には 1.5

```
html {
font-family : verdana, sans-serif;
line-height : 1.5}
```

見出しの指定

- ・前に決めた 1 行の高さ（24px）を基準にして一定の間隔で要素が配置されるように
- ・ここでは、h1 要素を 48px、h2 を 36px、h3 を 24px、h4、h5、h6 を 16px に指定

```
h1,h2,h3,h4,h5,h6 { margin-bottom : 24px}
h1 {
font-size: 48px;
line-height: 1} /* 48px */
h2 {
font-size : 36px;
line-height : 1.3333} /* 48px */
h3{
font-size : 24px;
line-height : 1} /* 24px */
hgroup h2,h4,h5,h6 {
font-size : 16px;
line-height : 1.5} /* 24px */
```